

令和5年度

肢体不自由教育部門

小学部

第6学年

⑬学習グループ

年間指導計画

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	小学部	学年	第 6 年	
教科等名	国語			学習グループ	⑬	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。 ・筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。 ・言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。 					
担当教員	荒木盛子 岡名沙輝			年間授業時数	175.5 時間	
使用教科書	新しい国語 六 東京書籍 小学書写六年（日本文教出版）					
主な指導の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本、映像、写真などを適宜使用し、児童に身近な題材や学校生活と結びつきのある題材を取り上げて学習を展開する。 ・ワークシートを適宜活用し、考えを深めたり、整理したりすることができるようにする。 					
月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4	気持ちよく対話を続けよう	5	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 相手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、対話を続けていくことができる。 ◇ 対話を続ける際に気をつけることについて、考えたことを伝え合う。 			
4	朗読で表現しよう サボテンの花／生きる	10	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 自分の感じたことや考えたことが伝わるように朗読することができる。 ◇ 朗読する作品を選び、感じたことや考えたことが聞き手に伝わるような朗読の仕方を考える。 			
5	筆者の論の進め方を確かめよう イースター島になぜ森林がないのか	17	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 文章の構成や事例を捉え、筆者の論の進め方についての考えをまとめることができる。 ◇ 「イースター島になぜ森林がないのか」を読み、文章の構成と要旨を押さえ、筆者の主張を捉える。 			
6	防災ポスターを作ろう	8	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 読み手の興味を引くような表現の効果を考えて、書き表し方を工夫することができる。 ◇ 集めた情報を整理し、割り付けを基に、キャッチコピーや見出しをを考えてポスターにまとめる。 			

1	さまざまな生き方について考えよう プロフェッショナルたち	6	<p>◆ 文章を読んで、そこに書かれた人物の生き方や考え方から、自分の将来や生き方について考えることができる。</p> <p>◇ 3人のプロフェッショナルたちが、それぞれどんな思いや考えを持って仕事に取り組んでいるかについて考える。</p>			
2	「卒業文集」を作ろう	15	<p>◆ 小学校6年間の経験を振り返り、伝えたい思いや考えを文章にまとめることができる。</p> <p>◇ 表現を工夫をして文章を書き、身につけた「言葉の力」を確かめて、これからの学習や生活に生かそうという意識を高める。</p>			○
2	聞いてほしい、この思い	5	<p>◆ 自分の思いが伝わるように、聞き手の興味・関心に応じて表現を工夫し、話の構成を考えて話すことができる。</p> <p>◇ 話を伝える相手を決め、どんな思いを伝えるのかを考える。</p>			○
3	未来に向かって 君たちに伝えたいこと/ 春に	10	<p>◆ 文章と詩を読んで、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。</p> <p>◇ 「君たちに伝えたいこと」を読み、筆者のメッセージについて考え、考えたことを伝える。</p>	○		

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	小学部	学年	第 6 年	
教科等名	社会			学習グループ	⑬	
ねらい	<p>（1）我が国の政治の考え方や仕組みや働き、国家及び社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産、我が国と関係の深い国の生活やグローバル化する国際社会における我が国の役割について理解するとともに、地図帳や地球儀、統計や年表などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>（2）社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>（3）社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の歴史や伝統を大切に国を愛する心情、我が国の将来を担う国民としての自覚や平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きることの大切さについて自覚を養う。</p>					
担当教員	荒木盛子 岡名沙輝			年間授業時数	105 時間	
使用教科書	小学社会6（教育出版）					
主な指導の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・地域教材を活用して、児童が関心をもって学習に取り組めるようにする。 ・ICTを活用し、観察や見学、聞き取りなどの調査活動を含む具体的な体験を伴う学習やそれに基づく表現活動の充実を図る。 ・社会的事象の特徴や意味、社会にみられる課題などについて、多角的に考えたことや選択・判断したことを論理的に説明したり、立場や根拠を明確にして話し合ったりするなど言語活動に関わる学習を重視する。 					
月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4 5	憲法とわたしたちの暮らし	12	<p>◆ 日本国憲法や法律の役割を考え、表現する。</p> <p>◇ 公共施設のバリアフリー設備について調べ、それらを整備する根拠になっている日本国憲法について考える。</p>		○	
5	わたしたちの暮らしを支える政治	8	<p>◆ 家族の様子や人口構成の変化を調べ、少子化や高齢化によって暮らしが変化していくことを考え、表現する。</p> <p>◇ 核家族化や少子化・高齢化、人口減少が進むことで社会はどのように変わっていくのかを考える。</p>		○	
6	国づくりへの歩み	8	◆ 縄文時代の様子や弥生時代の様子や想像図を比較して、暮らしの変化を考え、表現する。			

			◇ 「狩りや漁をしていたころの様子」と「米づくりが広まったころの様子」の想像図を読み取ったり、比較したりして、気づいたことや疑問点について話し合う。		○	
6	大陸に学んだ国づくり	7	◆ 天皇を中心とした政治が確立したことを捉える。 ◇ 天皇中心の政治のしくみが整えられていったことをつかむ。		○	
7	武士の政治が始まる	4	◆ 源氏と平氏の戦いを調べ、武士が力をもった経緯を捉える。 ◇ 武士がどのようにして力をもつようになったのかを考える。		○	
7	室町文化と力をつける人々	4	◆ 能や狂言について調べ、室町時代に生まれた文化と今日の暮らしや文化とのつながりに関心をもつ。 ◇ 能や狂言について調べ、室町時代の文化と今日の暮らしや文化とのつながりを考え、表現する。			○
9	全国統一への動き	5	◆ 戦国の世の中から全国が統一されたことについて学習問題をつくり、学習の見通しを立てる。 ◇ 戦国の世の中になった経緯や信長、秀吉、家康の3人の武将の概要について調べて、学習問題と学習計画を立てる。			○
9	幕府の政治と人々の暮らし	5	◆ 幕府の外交政策や交易の様子を捉え、江戸幕府の政治によって、武士の政治が安定したことや幕府の政策と人々の暮らしや社会の様子を関連付けて考え、表現する。 ◇ 外国との交流があたえた影響を考える。		○	
10	新しい文化と学問	6	◆ 江戸時代の新しい学問の特徴を捉える。 ◇ 新しい学問を求める人々の取り組みをつかむ。		○	
11	明治の新しい国づくり	7	◆ 2枚の浮世絵の人々や建物の様子の違いから、江戸時代が終わり、新しい時代になったことを考え、表現する。 ◇ 浮世絵を比較しながら調べ、新しい時代になってどのような変化があったのかを考える。		○	

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体(本校)	学部	小学部	学年	第6年	
教科等名	算数			学習グループ	⑬	
ねらい	<p>(1) 分数の計算の意味、文字を用いた式、図形の意味、図形の体積、比例、度数分布を表す表などについて理解するとともに、分数の計算をしたり、図形を構成したり、図形の面積や体積を求めたり、表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けるようにする。</p>					
	<p>(2) 数とその表現や計算の意味に着目し、発展的に考察して問題を見いだすとともに、目的に応じて多様な表現方法を用いながら数の表し方や計算の仕方などを考察する力、伴って変わる二つの数量やそれらの関係に着目し、変化や対応の特徴を見いだして、二つの数量の関係を表や式、グラフを用いて考察する力、身の回りの事象から設定した問題について、目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目して適切な手法を選択して分析を行い、それらを用いて問題解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察したりする力を養う。</p>					
	<p>(3) 数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p>					
担当教員	荒木盛子 岡名沙輝			年間授業時数	175 時間	
使用教科書	わくわく算数6年(啓林館)					
主な指導の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・プリントなどを使い、繰り返し学習し理解を深める。 ・視覚的に分かりやすくするため、また日常生活への般化を意識し、具体物を使って指導する。 					
月	単元(題材)名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4	対称な図形	12	<p>◆ 図形の対称性について、図形を折り重ねたり回したりする活動を通して線対称や点対称の意味を理解し、対称な図形の性質や作図の仕方を考えたり多角形の対称性を調べたりすることを通して、平面図形の見方・考え方を深めるとともに生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p> <p>◇ 対称の軸や対称の中心、対応する点や直線の意味を理解することができる。また、操作活動を通して、線対称・点対称な形を理解し、作図する。</p> <p>◇ 学習の進め方に関心を持ち、話し合い活動や発表に進んで取り組み、学習を進める手順や話し合いの仕方などを知り、これからの学習にいかす。</p>			
				○		
						○

4	文字と式	10	◆ 数量やその関係について、 x や y を使って式に表したり文字式の意味を具体的に即して考えたりすることを通して、文字を使った式の理解や対応する値を求めることができるようにするとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。			
			◇ ○や△などの代わりに x などの文字を用いることを理解し、文字を使って数量やその関係を式に表したり、文字に数をあてはめて x などの値を求めたりする。	○		
			◇ 文字を使って表された式の意味を考察し、読み取る。		○	
			◇ 文字を使うよさがわかり、数量やその関係を進んで文字を使った式で表す。			○
5	分数×整数、分数÷整数	7	◆ 分数と整数の乗除について、その意味や仕方を考えたり説明したりすることを通して、分数と整数の乗除計算できるようにするとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。			
			◇ 分数に整数をかけたり、整数でわったりする計算する。	○		
			◇ 分数の意味をもとに、分数に整数をかけたり、整数でわったりする計算の仕方を考える。		○	
			◇ 分数に整数をかけたり、整数でわったりする計算に進んで取り組む。			○
5	分数×分数	15	◆ 分数をかける計算や逆数について、その意味や仕方を考えたり説明したりすることを通して分数のかけ算になる場面をとらえて計算できるようにするとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。			
			◇ 分数をかける計算の意味を十分に理解し、計算し、逆数の意味や分数の計算においても交換法則や結合法則、分配法則が成り立つことを知る。	○		
			◇ 分数の意味分数に分数をかける計算の意味や仕方を、筋道立てて考える。		○	
6						

6	分数÷分数	14	◇ 分数に分数をかける計算に進んで取り組み、分数のかけ算を活用して、いろいろな問題を解決する。			○
			◆ 分数でわる計算について、その意味や仕方を考えたり説明したりすることを通して分数のわり算になる場面をとらえて計算できるようにするとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。			
			◇ 分数でわる計算の意味を十分に理解し、計算する。	○		
			◇ 分数でわる計算の意味や仕方を、筋道立てて考える。		○	
			◇ 分数でわる計算に進んで取り組み、分数のわり算を活用して、いろいろな問題を解決する。			○
6	資料の調べ方	12	◆ 資料のちらばりについて、ドットプロット・度数分布表・ヒストグラムを用いた分類・整理の仕方や代表値の意味を理解し、それをもとに事象の特徴を考察したり説明したりすることを通して、統計的に問題解決する力を育むとともにその方法を生活や学習に活用しようとする態度を養う。			
			◇ ドットプロット、度数分布表やヒストグラムを使って資料を整理したり、資料から代表値を求めたりし、統計的な問題解決の方法を理解する。	○		
			◇ 代表値や表・グラフをもとに適切に判断したり、集めた資料を整理するのに適切な表現方法を選択したり、得られた結論について多面的に考える。		○	
			◇ 代表値や表・グラフのよさや統計的な問題解決の方法を知り、身のまわりの事柄などを調べるときにそれをいかす。			○
7	円の面積	8	◆ 円の面積について、その求め方や公式を考えたり説明したりすることを通して、円や円弧を含む複合図形の面積を求めることができるようにするとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。			

		<ul style="list-style-type: none"> ◇ 円の面積の求め方とその公式を理解し、公式を使って円の面積を求めたり、円弧を含む複合図形的面積を求めたりする。 ◇ 円の面積の求め方やその公式、また、円弧を含む複合図形的面積の求め方を考える。 ◇ 見積もりや様々な操作活動を通して、円の面積を既習の図形的面積と関連づけて考える。 	○		
9	立体の体積	8	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 柱体の体積について、その求め方や公式を考えたり説明したりすることを通して、体積を求めることができるようにしたり立体図形の見方・考え方を深めたりするとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。 ◇ 柱体の体積の求め方とその公式を理解し、公式を使って柱体の体積を求めたり、複合図形の体積を求めたりする。 ◇ 直方体の体積の求め方をもとに、角柱や円柱の体積の求め方やその公式、また、複合図形の体積の求め方を考える。 ◇ 直方体の体積の学習をいかし、柱体の体積の学習に進んで取り組む。 		
9	比とその利用	11	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 比について、その表し方や比の値、等しい比の意味を理解し、割合が比で表された問題を解決することを通して、割合の見方・考え方を深めるとともに生活や学習に活用しようとする態度を養う。 ◇ 比の意味と表し方を理解し、比を用いて表したり、等しい比をみつけて比を簡単にしたりする。 ◇ 比を用いて考え、問題を解決する。 ◇ 比のよさがわかり進んで活用する。 		
10				○	
					○
10	表を使って考えよう(1)	6	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 文章題において、数量の関係を表に整理して条件にあう場合に着目して解法を考えることを通して、順序良く調べようどよい場合を見つける考え方を使得解くことができるようにするとともに、用いた表や見方・考え方を生活や学習に活用しようとする態度を養う。 		

			<ul style="list-style-type: none"> ◇ 表を使ってすべての場合を順序よく整理し、調べる。 ◇ 表をもとにして、条件にあう場合を見つけたり、条件にあう場合のきまりを考えたりする。 ◇ 表を使うことよさに気づき、進んですべての場合を順序よく表に整理する。 	○		
10	図形の拡大と縮小	14	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 図形の拡大・縮小について、図形を観察する活動を通して拡大・縮小の意味を理解し、拡大図・縮図の性質や作図の仕方を考えたり縮図を用いて距離を調べたりすることを通して、平面図形についての理解を深めるとともに生活や学習に活用しようとする態度を養う。 ◇ 図形の拡大や縮小の意味を理解し、頂点、辺、角の対応をみつけて拡大図や縮図を作図する。 ◇ 拡大や縮小の観点から既習の基本図形の性質を考えたり、拡大図や縮図の作図を通して形や大きさのきまり方を考えたりする。 ◇ 身のまわりや既習の図形の見方に関心を持ち、進んで拡大図や縮図の性質調べや作図などに取り組む。 			
11				○		
					○	
						○
11	およその形と大きさ	5	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 面積や体積の概測について、ものの概形のとらえ方を理解し、そのおよその面積や体積の求め方を考えたり説明したりすることを通して、ものの形の見方・考え方を深めたりするとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。 ◇ 身のまわりの物の概形をとらえて、そのおよその面積や体積を手際よく求める方法を理解し、概測する。 ◇ 身のまわりの物の概形を考えたり、そのおよその面積や体積の求め方を考えたりする。 ◇ 目的にあわせて身のまわりの物の概形をとらえようとしたり、概測のよさを知って活用しようとする。 			
				○		
					○	
						○

12	比例と反比例	20	<p>◆ 伴って変わる2つの数量について、比例や反比例の意味を理解し、その変化の様子や関係を式、表、グラフを用いて調べたり考えたりすることを通して、関数的な見方・考え方を深めるとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p> <p>◇ 比例や反比例の意味や性質を理解し、比例や反比例の関係を、式や表、グラフに表す。</p> <p>◇ 数量の変わり方や関係に着目して比例や反比例する事象について考えたり、比例関係を利用して問題を解決したりする。</p> <p>◇ 身のまわりの伴って変わる2つの数量が比例や反比例の関係にあるかを進んで調べようとしたり、また、比例の関係を利用して身のまわりの問題を解決しようとしたりする。</p>	<div style="background-color: #cccccc; width: 100%; height: 100%;"></div>
12	表を使って考えよう (2)	11	<p>◆ 文章題において、数量の変化を表に整理してその和や差に着目して解法を考えることを通して、変わり方のきまりをみつける考え方をを使って解くことができるようにするとともに、用いた表や見方・考え方を生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p> <p>◇ 表を使って変化する2つの数量の和や差を調べる。</p> <p>◇ 表を使って変化する2つの数量の和や差の規則性を考え、問題を解決する。</p> <p>◇ 表を使うことのよさに気づき、進んで表を使って変わり方を調べようとしたり、変わり方のきまりを見いだそうとしたりする。</p>	<div style="background-color: #cccccc; width: 100%; height: 100%;"></div>
1	場合を順序よく整理して	12	<p>◆ 場合の数について、落ちや重なりのないように図や表を用いて調べたり場合を整理して考えたりすることを通して、場合の数を求めたり条件にあう場合を見つけたりすることができるようにするとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p>	<div style="background-color: #cccccc; width: 100%; height: 100%;"></div>

		<p>◇ 組み合わせや並べ方を順序よく整理し、落ちや重なりのないように調べるためには、観点をきめたり、図や表を工夫したりして調べればよいことを理解する。</p> <p>◇ 組み合わせや並べ方を順序よく整理し、落ちや重なりのないように調べる方法を考え、すべての場合のうち、条件に合うものを考え、判断する。</p> <p>◇ 落ちや重なりのないように調べることの重要性に気づき、観点をきめたり、図や表を工夫したりして順序よく整理する。</p>	○		
2	図を使って考えよう	5	<p>◆ 文章題において、問題場面を図に表して全体と部分の割合に着目して解法を考えることを通して、全体を1として割合を考える考え方を使って解くことができるようにするとともに、用いた図や見方・考え方を生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p> <p>◇ 線分図を使って、全体を1としたときの割合の意味を理解する。</p> <p>◇ 全体を1としたとき、線分図を使ってそれぞれの部分が割合でどのように表されるかを考える。</p> <p>◇ 全体を1として考えるよさが分かり、それをを用いる。</p>		
3	6年のまとめ（算数パスポート）	5	<p>◆ 6年生で学習した問題を解き、問題が解けたものと解けなかったものをチェックして自己評価し、中学校で学ぶ「数学」についても知る。</p> <p>◇ ・数と量 ・計算と見積もり ・図形と量 ・変化と関係 ・データの活用 ・問題の見方・考え方 ・中学校で学ぶ「数学」の簡単な紹介をする。</p>		

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体(本校)	学部	小学部	学年	第6年	
教科等名	理科			学習グループ	⑬	
ねらい	(1) 自然の物事・現象についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、問題解決の力を養う。 (3) 自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養う。					
担当教員	荒木盛子 岡名沙輝			年間授業時数	105 時間	
使用教科書	わくわく理科6(啓林館)					
主な指導の工夫	・写真や学習映像、インターネットなどの視聴覚教材を活用した学習で学習内容への興味、関心を高め、より具体的に学べるようにする。 ・実験や観察は予想した考えを確かめる楽しさが味わえるようにする。					
月	単元(題材)名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4	ものが燃えるしくみ	2 2 2 2 2	◆ ものの燃焼のしくみを多面的に調べる活動を行い、ものの燃焼と空気の変化とを関係づけて捉える。			
			◇ ものが燃えるためには何が必要なのか考える。			○
			◇ ものの燃え方と空気の動きについて知らべる。	○		
			◇ 気体による燃え方の違いを実験を通して調べる。		○	
			◇ ものが燃えるときの空気の変化を実験を通して確かめる。	○		
		2	◇ この単元で学んだことが、生活や学習に生かせるか考える。			○
5	ヒトや動物の体	1 1 1 2	◆ 消化、呼吸、循環および排出の学習を通して、自らの体への理解を深めるとともに、体の各器官が相互に関わり合って生命を維持していることを理解する。			
			◇ 生きるために必要なものを、体の中に取り入れる流れを考える。			○
			◇ 食べ物が口の中でどう変化するのか、予想をして実験で確かめる。		○	
			◇ 食べ物が体のどこを通過して、どう変化するのか、資料で調べる。	○		
			◇ 吸う息と、はき出した息の違いを、実験を通して確かめる。	○		

		2	◇ 血液の流れとはたらきについて、資料などを活用して調べる。	○		
		1	◇ 血流でつながる臓器と、各臓器のはたらきについて考える。	○		
		2	◇ この単元で学んだことが、生活や学習に生かせるか考える。			○
6	植物のつくりとはたらき		◆ 植物の体のつくりやはたらきの学習を通して植物が自然界で行っている重要なはたらきを理解する。			
		1	◇ 植物の体の中を、水はどのように運ばれているのか考える。			○
		2	◇ 根が取り入れた水が植物の体にどう行き渡るのか実験して考える。		○	
		2	◇ 植物は、どんな気体のやり取りについて実験を通して調べる。	○		
		2	◇ 葉に日光が当たるとでんぷんができることを、実験で確かめる。	○		
		1	◇ この単元で学んだことが、生活や学習に生かせるか考える。			○
7	生物どうしのつながり		◆ 生物どうしのつながり、養分や空気や水が自然の中を行き来していることを理解する。			
		1	◇ 生物が食べ物や空気、水を通して、どう関わり合うか調べる。			○
		1	◇ わたしたちの食べ物のもととは何か、食べ物のもとをたどる。	○		
		2	◇ 観察を行い、自然の池や川でも食物連鎖が見られるか考える。		○	
		2	◇ 生物が空気や水を通して、どう関わり合っているか考える。		○	
		2	◇ この単元で学んだことが、生活や学習に生かせるか考える。			○
	みんなで使う理科室		◆ 理科室の約束や、学習で使う薬品や器具に興味をもち、安全に実験する方法を身に付けようとする。			
		1	◇ 理科室のルールや実験前に留意しておくこと等を確認する。	○		
		1	◇ 安全な実験の方法やトラブル時の対応の仕方を覚える。		○	

9	すいよう液の性質	2	◆ いろいろな水溶液を①溶質②3つの性質③金属と反応するようすで調べる活動を行い、水溶液の性質やはたらきへの理解を深める。			
			◇ 水溶液には、それぞれどんな性質があるか調べる。			○
			◇ いろいろな水溶液を区別する方法を、予想をたて実験で確かめる。	○		
			◇ リトマス紙を使って、水溶液の仲間分け調べを行う。	○		
			◇ 金属にうすい塩酸を加えたときの変化を、実験を通して調べる。	○		
			◇ この単元で学んだことが、生活や学習に生かせるか考える。		○	
10	月と太陽	2	◆ 塩酸に金属が溶けた液体から出てきた固体は、もとの金属と同じものか、実験を通して調べる。	○		
			◇ この単元で学んだことが、生活や学習に生かせるか考える。		○	
			◆ 月の形の見え方は太陽と月の位置関係で変わることを理解する。			
11	大地のつくりと変化	1	◇ 月の見え方と太陽には、どんな関係があるかを調べる。			○
			◇ 月の見え方の実験を行い、月の形が変わって見える理由を考える。		○	
			◇ この単元で学んだことが、生活や学習に生かせるか考える。			○
12	大地のつくりと変化	1	◆ 大地は長い年月と大きな空間的な広がりの中でつくられ変化してきたことを理解する。			
			◇ 大地のつくりや変化について調べる。			○
			◇ 地層はどんなものからできているか調べる。	○		
			◇ 水のはたらきによる、地層のできかたを調べる。	○		
			◇ 火山灰には、どんな特徴があるか資料を活用して調べる。	○		
			◇ 火山活動や地震で起こる大地の変化を、資料を活用して調べる。	○		
12	大地のつくりと変化	1	◇ 火山や地震は、暮らしとどんな関係があるのか調べる。		○	
			◇ この単元で学んだことが、生活や学習に生かせるか考える。			○

1	てこのはたらき	<p>◆ てこの実験を通して、重いものを楽に持ち上げる方法や、てこがつり合うときの規則性を理解する。</p> <p>1 ◇ てこのはたらきを利用した道具について調べる。</p> <p>3 ◇ てこを使って、重いものを小さな力で持ち上げる方法を調べる。</p> <p>2 ◇ 水平につり合うときの規則性について、実験を通して確かめる。</p> <p>2 ◇ てこを利用した道具のしくみについて調べる。</p> <p>2 ◇ この単元で学んだことが、生活や学習に生かせるか考える。</p>			
2	発電と電気の利用	<p>◆ 電気は、作り出したり蓄えたりできること、電気は光、音、熱などに変えられることを理解する。</p> <p>1 ◇ 電気をつくる、蓄える、使うことを通して電気のはたらきを調べる。</p> <p>2 ◇ 手回し発電機は、乾電池と同じようなはたらきをするか調べる。</p> <p>2 ◇ 光電池の特徴を実験を通して調べる。</p> <p>2 ◇ 発電した電気をコンデンサに蓄えて使えることを実験で確かめる。</p> <p>2 ◇ 身の回りでは、電気をどのように利用しているか調べる。</p> <p>4 ◇ 必要なときに明かりをつけるプログラミングを考える。</p> <p>2 ◇ この単元で学んだことが、生活や学習に生かせるか考える。</p>			
3	自然とともに生きる	<p>◆ 生物と環境との関わりや身近な環境問題を調べ、生物と環境との関わりについて理解する。</p> <p>1 ◇ 「自然とともに生きる」とは、どのようなことか考える。</p> <p>1 ◇ わたしたちの生活は、環境とどう関わり合っているか調べる。</p> <p>1 ◇ わたしたちの暮らしが環境にどのような影響を及ぼしているのか、資料を活用して調べる。</p> <p>2 ◇ どうすれば環境を守りながら、よりよい生活ができるか考える。</p>			

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体(本校)	学部	小学部	学年	第6年	
教科等名	音楽			学習グループ	⑬	
ねらい	(1)曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。 (2)音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。 (3)主体的に音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。					
担当教員	荒木盛子 岡名沙輝			年間授業時数	50 時間	
使用教科書	音楽のおくりもの6 教育出版					
主な指導の工夫	・音楽の情景を写真などで提示し、音楽にある背景を感じられるようにする。 ・活動への意欲を高められるよう、児童の興味・関心のある音楽や楽器も適宜取り上げる。 ・授業中の児童の様子をよく観察し、適切な支援・指導ができるようにする。					
月	単元(題材)名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4	スキルアップ にっぽんのうた みんなのうた	3	◆ 呼吸及び発音の仕方に気を付けて歌う技能や、拍に合わせて、全体の響きを聴いて演奏する技能を身に付ける。 ◇ 曲想を感じ取って表現を工夫し歌う。			
		1	◆ 自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。 ◇ 歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、日本の歌に親しむ。			○
5	短調のひびき	4	◆ ハ長調やイ長調の楽譜を見て、歌ったり演奏したりする技能を身に付ける。 ◇ 長調と短調の響きの違いに興味をもち、転調する音楽に親しむ。			
		5	◆ 旋律やおとの重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、どのように歌ったり演奏したりするかについて思いや意図をもつ。 ◇ 演奏者の思いを感じ取ることに興味をもち、オーケストラや合唱の響きに親しむ。		○	
6	演奏のみりよく	5	◆ 旋律やおとの重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、どのように歌ったり演奏したりするかについて思いや意図をもつ。 ◇ 演奏者の思いを感じ取ることに興味をもち、オーケストラや合唱の響きに親しむ。			
		5	◆ 旋律やおとの重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、どのように歌ったり演奏したりするかについて思いや意図をもつ。 ◇ 演奏者の思いを感じ取ることに興味をもち、オーケストラや合唱の響きに親しむ。		○	

	めざせ楽器名人	2	◆ リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりについて理解するとともに、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。			
7	音のスケッチ	4	◇ リコーダーアンサンブルに親しむ。			○
	にっぽんのうた みんなのうた	1	◆ 自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。			
			歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、日本の歌に親しむ。	○		
9	ひびき合いを生かして	4	◆ 各声部や全体の響きを聴きながら演奏する技能を身に付ける。			
			◇ 旋律の重なりに興味をもち、合唱を楽しむ。			○
10	ききどころを見つけて	4	◆ 楽器の音色や楽器同士の関わり、旋律の変化や反復を聴き取り、そのよさや美しさ、面白さを感じ取りながら曲のよさを見出す。			
			◇ バイオリンとピアノによるアンサンブルに興味をもち、室内楽に親しむ。	○		
11	豊かな表現を求めて	3	◆ 旋律の流れや声部同士の関わり、全体の響きを感じ取りながら、聴き取ったこと、感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。			
			◇ ジャズをもとにした音楽や器楽合奏に親しむ。			○
12	音のスケッチ	4	◆ 和音のよさを感じ取り、即興的な表現を通して音楽づくりの様々な発想を得る。			
			◇ 循環コードの音楽に親しむ。	○		
1	私たちの国の音楽	5	◆ 我が国に伝わる音楽や楽器に興味をもち、曲全体を味わって聴く。			
			◇ 曲のよさを見出し、日本の音楽に親しむ。	○		

2	音楽に思いをこめて	3	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能を身に付ける。 ◇ 合奏や二重奏、二部合奏に親しむ。 				
3	音のスケッチ	3	<ul style="list-style-type: none"> ◆ もととする二つの音階の響きの特徴、各声部の役割を理解し、音楽の仕組みをもとに音楽をつくる技能を身に付ける。 ◇ 全音音階や5音音階に親しむ。 				
	ジャズとクラシック 音楽の出会い	4	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ジャズとクラシックが融合した音楽に興味をもつ。 ◇ ピアノとオーケストラによる音楽に親しむ。 				

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	小学部	学年	第 6 年	
教科等名	図画工作			学習グループ	⑬	
ねらい	(1)対象や事象と捉える造形的な支援について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を活用し、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。					
	(2)造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、親しみのある作品などから自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。					
	(3)主体的に表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、作りだす喜びを味わい、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。					
担当教員	荒木盛子 岡名沙輝			年間授業時数	50 時間	
使用教科書	図画工作5・6上下（日文）					
主な指導の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な材料を使い、創造して取り組む楽しさを味わえるようにする。 ・授業中の児童の様子をよく観察し、適切な支援・指導ができるようにする。 					
月	単元（題材）名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4	おもしろ筆 墨と水から広がる世界	4	◆身近な材料を使い、材料の特徴や材質を考えながら筆跡を想像したり、墨と水を使ってできることを試しながら表したいことを見付け、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、面白い形や線がかける筆を工夫してつくる。			
			◇柄や筆先に使えそうな材料を集め、墨と水を使っていろいろな表現を試す。		○	
		◇試したことを基に表したいことを考える。		○		
		◇絵具、墨と水、筆などの使い方を工夫して表現を深めようとする。			○	
5	固まった形から	4	◆液体粘土で固めた布の形の美しさや面白さを感じ取り、見立てたり、形を生かしたりして、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、想像を広げて立体に表す。			
			◇布に触れいろいろな形を見付け、液体粘土をつけて、つるしたりねじったりするなどいろいろな形を試して、よいと思った形で固定する。	○		
		◇固まった形をいろいろな向きから見て思いついたことを表す。		○		
		◇主体的に液体粘土でぬのを固めた形から想像を広げて立体に表す学習活動に取り組もうとしている。			○	

6	すてきな明かり	<p>4 ◆ 光の様子を見ながら発想し、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、プラスチック段ボールや色セロハンなどを使って、きれいな光を感じるランプシェードを工夫してつくる。</p> <p>◇ 見え方などを確かめながらつくる。</p> <p>プラスチック段ボールや材料に光を当てて、光の通る感じを味わいながら、表したいことを考える。</p> <p>◇ 実際に使うなどして作品のよさや美しさを味わおうとする。</p>			
7	くるくるクランク	<p>4 ◆ クランクの仕組みを生かして、動きのある面白いおもちゃなどを考え、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、表し方を工夫して表す。</p> <p>◇ クランクの仕組みを知り、材料や用具の使い方を工夫してつくる。</p> <p>◇ 仕組みを動かしながら表したいことを考える。</p> <p>作品を動かして見合いながら、よさや面白さ、表現の工夫を味わい伝え合う。</p>			
9	音のする絵	<p>4 ◆ 身近な音を感じながら形や色を思い浮かべて、造形的な特徴を捉えながら自分の思いに合う表し方を工夫して絵に表す。</p> <p>◇ 音から思い浮かべた形や色を切って貼ったり、かいたり表す。</p> <p>◇ 表したものを見て題名を考える。</p> <p>水彩絵の具などの描画材についての経験や技能を総合的に生かし、表し方を工夫して表す。</p>			
10	私の大切な風景	<p>6 ◆ 日頃の生活の中にある自分にとって大切な風景を思い浮かべたりしながら、そのときに様子や思いに合う形や色の特徴を捉え、工夫して絵に表すことを楽しむ。</p> <p>◇ 思いが表れるように表し方を構想して、自分が大切に思う風景を表す。</p> <p>◇ 自分の生活や身の回りを見つめ、大切な風景を思い浮かべる。</p> <p>◇ 表現方法に応じて水彩絵の具を活用し、工夫して表す。</p>			
	私の感じる和	<p>2 ◆ 古くから親しまれてきた日本の美術に触れ、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、そのよさや美しさ、表現の特徴を感じ取る。</p>			

		<p>◇ 生活の中にある「日本の美術」だと思 うものを集めたり調べたりする。 自分なりに捉えた特徴を基に簡単に絵 ◇ に表すなどして、感じたこと、考えた ことを確かめる。</p>	○	○	
11	言葉から想像を広げて	<p>4 ◆ 詩や短歌、物語などを味わい、その言 葉からにじみ出る雰囲気や感じ取った 思いが伝わるように、形や色などの造 形的な特徴を捉えながら、画面の構成 を考え、表現方法を工夫して絵に表 す。</p> <p>詩や短歌、物語などを読んで、感じた ◇ ことや思い浮かんだことを小さな紙に 簡単にかく。</p> <p>かいたことや読んで感じたことを基に ◇ 表したいことや表し方を考えて表す。</p> <p>友人とお互いの作品を紹介し合い、ど ◇ のようなことを表したのかを伝え合 う。</p>			
12	未来のわたし	<p>4 ◆ 未来の自分を想像し、自分が将来した いことなどを考え、夢や願いを込めて 材料や形の作り方を工夫して、形や色 などの造形的な特徴を捉えながら、立 体に表す。</p> <p>未来の自分がしたいことや様子などを ◇ 思い浮かべたり話し合ったり調べたり する。</p> <p>表したい様子を考え、ポーズなどを考 ◇ えながらつくる。</p> <p>作品を友人に見せて、将来の夢やした ◇ いことをどのように表したのかを紹介 し合う。</p>			
1	版で広がるわたしの思い	<p>6 ◆ これまでの経験を生かし、自分の思い に合った版に表す技法を用いて、彫り や刷りの効果を確認しながら、形や色 などの造形的な特徴を捉え、版に表 す。</p> <p>◇ 選んだ版表現の手順を確認し、アイデ アスケッチや下絵をかく。</p> <p>◇ 版をつくり刷る。思いに合わせて繰り 返したりかき足したりする。</p> <p>前学年までの材料や用具についての経 ◇ 験や技能を総合的に生かし、工夫して 表す。</p>			
2					

3	ドリームプロジェクト	<p>楽しく幸せに過ごせる願いを込めた学校や町づくりの計画を、形や色などの造形的な特徴を捉えながら模型やイラスト、設計図などに表して、友人や学校に訪れた人に分かりやすくプレゼンテーションをする。 アイデアスケッチをしながら、よりよい学校や町づくりの計画を立てたり表現方法を考えたりする。</p> <p>◇ 身近な材料や今までに経験した方法を活用して、計画を模型や設計図などに表す。</p> <p>作品を基に思いや願い、考えたことについてプレゼンテーションを行う。</p>		<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
---	------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	----------------------------

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体(本校)	学部	小学部	学年	第6年	
教科等名	家庭科			学習グループ	⑬	
ねらい	(1)家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて、日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 (2)日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。 (3)家庭生活を大切にすることを育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。					
担当教員	荒木盛子 岡名沙輝			年間授業時数	57 時間	
使用教科書	小学校 わたしたちの家庭科5・6(開隆堂)					
主な指導の工夫	・生活の中から問題を見出し、課題を設定し、解決方法を検討し、計画・実践・評価・改善するという一連の学習過程を重視し、知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力の育成をする。 ・ICTを活用して、個に応じた指導、児童の協働的な学びなどを行う。 ・実感を伴った理解を深めるために、実際に見たり、触れたりすることができる実物や標本、ふれあい体験などに必要な教材の充実をする。					
月	単元(題材)名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4	1 生活時間をマネジメント	3	◆ 自分の生活時間を見つめ直し、課題に気づく。 ◇ 教科書p.80、81の本文を読み、「かなさんの1日の生活」の図を見て気づいたことをグループで話し合い、発表する。友だちの発表から、改めて自分の生活時間についてふり返り、課題を見つけてノートに書く。 ◆ 自分の生活時間を調べ、家族との時間の使い方の課題を見つけ、有効な使い方が分かる。 ◇ ①の学習をふり返り、生活時間を自分で管理する大切さを確認する。教科書p.82わたしの1日の時間の使い方(ワークシート)に記入して、自分がどのように時間を使っているか確認して、自分の課題を見つける。 ◆ 団らんの時間や、家庭の仕事を分担して行う時間を工夫できる。 ◇ p.83「生活時間のマネジメント」と、「家族と過ごす時間を作る工夫の例」を読み、本時の流れを理解する。課題を解決するには、自分の生活時間のどこをどのように変えるとよいか考える。考えた工夫を発表し合い、自分の計画の参考にする。			
					○	
						○
						○

5	<p>2 できることを増やしてクッキング</p>	8	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ゆでる調理といためる調理の違いを考え、いためる調理の良さが分かる。 ◇ 「ゆでる」調理と「いためる」調理の違いを考える。 ◆ 卵をいためることができる。材料の特徴を考え、材料に適した切り方やいため方について考え、調理計画を工夫することができる。材料の特徴を考え、切り方やいため方を工夫して野菜をいためることができる。 ◇ 「いためる」調理による食品の変化を知る。卵の加熱の仕方の違いによる変化を知り、自分の調理目標を設定する。1人1個の卵をいためる。使用する野菜の特徴から、切り方や加熱の時間、火力、野菜を入れる順番を考え、調理計画を立てる。複数の野菜を計画した切り方で切り、いためる順序や火力を考えていためる。調理実習をふり返り、できるようになった「いためる」調理の生活への活用を考える。 ◆ 食品を組み合わせてとる必要があることが分かり、できるようになった調理を生かして、朝食を作ろうとする。 ◇ 朝食を食べる理由について話し合う。主食、主菜、副菜の組合せが、栄養バランスのよい朝食になることを知る。これまでの学習を生かして、朝食作りの計画表を作成して実践する。自分ができるようになったことを生活にどう生かすか考える。 	
6	3 クリーン大作戦	4	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 住まいのそうじの必要性に気づき、そうじの仕方について考え、汚れの特徴を知り、課題をもって見直すことができる。 ◇ 家庭や学校でのそうじの経験について話し合う。なぜ、そうじをするのかを考える。 ◆ 場所ごとの汚れの種類や特徴を考え、汚れやごみを少なくするために、生活の仕方やそうじの仕方を見直す。汚れやごみの種類、その場所に合ったそうじの仕方を考えて計画を立て、工夫をしてそうじをすることができる。 	

7 4 ずずしく快適に
過ごす住まい方

3

- ◇ 場所を分担して調べ、記録する。教科書p.9 2、9 3でそうじの手順を調べ、調べてきたことを伝え合う。汚れに合わせたそうじの計画を立てる。計画を発表し合い、友だちの工夫やアドバイスをもとに改善する。
- ◆ そうじの仕方についての活動をふり返って評価・改善し、課題を解決する力を身につけ、生活を工夫し、実践しようとする。
- ◇ 場所や汚れに合わせたそうじの工夫を班で発表する。よいところやアドバイスなどを付箋やワークシートに書いて伝える。友だちの工夫やアドバイスを参考に家庭や学校での生活への生かし方を考える。
- ◆ 暑い日を快適に過ごすために、工夫していることに気づく。
- ◇ 教科書p.9 4、9 5 p.6 8、6 9のイラストや写真を参考に、暑い日を快適に過ごすための工夫を話し合い、発表する。暑い季節を快適に過ごすとはどのようなことか5年生の「寒い日を快適に過ごす」の学習と比較して考える。
- ◆ 暑い季節の住まい方について課題を見出し、快適に過ごすための工夫を考えることができる。
- ◇ 夏の気候の特徴と住まいの働きを話し合う。学校の住環境を調べ、分かったことを発表する。調べてみて分かったこと、今後の生活で改善してみたいことをまとめる。音の感じ方についても扱い、快適に感じるものと、不快に感じるものがあることや季節の音を楽しむ日本の生活文化や生活音の周りへの配慮など、音を通して住まい方を考えられるようにする。
- ◆ 暑い季節の住まい方について課題を見出し、快適に過ごすための工夫を考えることができる。
- ◇ 家庭で調べてきた住まいの工夫を発表する。自分の住まい方に合ったずずしさアップの方法を考える。家庭でどのように実践していくかをまとめる。

○

○

○

○

○

	<p>5 すずしく快適に過ごす着方と手入れ</p>	<p>5</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ すずしい着方の特徴に気づく。 ◇ 教科書 p.98イラスト、 p.99写真、 p.65写真、資料からすずしい着方について気づいたことを発表する。布による空気の通しやすさを比べる実験や湿気の吸いやすさを比べる実験に取り組む。 ◆ すずしい着方について理解する。日常着の手入れが必要であることや、衣服のボタンの付け方及び洗濯の仕方を理解する。手洗いによる洗濯ができる。 ◇ 前時で考えたことや実験から分かったことをもとに、すずしく快適な着方をまとめる。衣服の手入れの必要性を p.100資料から読み取る。手洗いの手順、衣服の取り扱い表示を知り、手洗いによるくつ下やTシャツの洗たく計画を立てる。手洗いによるくつ下やTシャツの洗たくをする。 ◆ すずしく快適な着方を考え、工夫する。衣服の着用と手入れについて、課題解決に向けて主体的に取り組み、生活を工夫し実践する。 ◇ 学習をもとに、これからの自分のすずしい着方の工夫について考える。環境のことを考えて、これからの自分の生活に洗たくの工夫をどう生かしていくか考える。 	
<p>9</p>	<p>6 生活を豊かにソーイング</p>	<p>10</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 布のふくろについて関心をもち、使う目的に応じた工夫を見つけようとする事ができる。 ◇ p.104の写真から布で作られたふくろがどのように使われているか学校や家庭での生活をふり返って発表する。使う目的に応じてどのような工夫があるか話し合う。 ◆ 生活を豊かにするふくろを作るために、目的に合わせた工夫を考え、製作計画を立てることができる。製作計画をもとに、縫い方や手順を考え、工夫して製作することができる。 	

10

7 こんだてを工夫して 11

11

◇ 自分の生活をふり返り、手縫いやミシンで生活を快適、便利にするようなふくろを考える。身の回りにあるふくろにいろいろなものを入れて、出し入れしやすくする大きさを話し合う。大きさ以外に目的にあったふくろを作るための工夫を調べたり、話し合ったりして書く。目的に合った工夫を発表して交流する。製作計画を立てる。製作計画を班の中で発表し、工夫を交流する。ふくろの製作。

◆ 製作計画や製作の仕方について評価したり、改善したりして、生活をよりよくする工夫を考えることができる。

◇ 製作後に活用した結果をふり返る。製作や活用の工夫の報告会を開く。これからの製作や製作した作品の活用に生かせるように、友だちの報告を参考にし、実際の生活にどう生かせるか考える。

◆ 毎日の食事に関心を持ち、主体的に栄養を考えた食事のとり方について主体的に取り組もうとする。

◇ p 1 1 2 の写真や給食の献立表から気づいたことを発表し、毎日食事をどのように選んで食べているか考える。バランスのよい食事を自分で選ぶためには、料理や食品をどう組み合わせるか調べて、発表する。

◆ 1食分の献立を構成する要素が分かり、1食分の献立作成の方法について理解する。栄養バランスのよい1食分の献立について考え、課題解決する力を身につける。

◇ 自分がどのように食事を選んでいるかをふり返り、献立をなぜ立てるのか考える。「1食分の献立を立て、家族や身近な人と食事をする」ために、必要なことを考える。献立の立て方を考える。作成した献立をもとにグループで話し合い、工夫の仕方や修正の仕方について話し合う。話し合いをもとに、自分の立てた献立を修正する。

○

○

○

○

1 8 共に生きる
地域での生活

4

- ◆ おいしく食べる調理計画について主体的に取り組もうとする。1食分の献立を立て、課題解決に向けて工夫するなど課題を解決する力を身につける。身近な物の選び方、買い方について問題を見いだして、様々な解決方法を考え課題を解決する力を身につける。材料に適した調理や調理事項について、それに係る技能を身につける。生活をよりよくしようと材料に適した調理や調理事項について課題の解決について振り返り生活を工夫しようとする。実践したことを基に、家族のために1食分の調理計画について考えたことを分かりやすく表現する力を身につける。家族とともに楽しく食べるためのマナーや食卓の工夫について考えたことを表現し課題を解決する力を身につける。家族と共に楽しく食べるためのマナーや食卓の工夫について工夫し、実践しようとする。
- ◇ 前時で考えた献立をもとに、栄養バランスのとれた1食分の献立をグループで話し合う。目的に応じた切り方や調理の仕方を考え、環境に配慮した、調理計画表を作成する。調理実習を行う。学校での実習後によかったことや改善点を発表する。発表をもとに、学校や家庭で実践するための計画表を作成して実際の生活に生かせるようにする。継続して実践できるようにするために、どうしたらよいか考える。
- ◆ 家庭生活は地域の人々との関わりで成り立っていることや、協力し助け合っていく必要があることについて理解できる。
- ◇ p.120・121のイラストから地域ではどのような人がどのように生活しているかがして、発表する。家庭生活が身近な人々との関わりで成り立っていることや、協力し助け合っていく必要があることを理解する。
- ◆ 家族の一員として地域の人々とよりよく関わっていくための計画を考え、工夫し、実践を評価したり、改善したりする。家族の一員として生活をよりよくしようと、家族や地域の人々との関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとする。

○

○

2		<ul style="list-style-type: none"> ◇ 地域の中でできることをさがし、「地域の関わりプロジェクト」の計画表を作成する。家で調べたり試行したりしたことから改善点を見つけ、計画表の見直しをする。 ◆ 家族の一員として地域の人々と、よりよく関わっていくための実践をふり返り、考えたことを分かりやすく表現している。実践をふり返り改善したり、生活を工夫したりして、実践しようとする。 ◇ 地域の人々の暮らし方で気がついたことや、人々とのような交流ができたかを発表し合う。取り組みについて家族・地域・友だちからアドバイスしてもらって取り組みをさらに家庭や地域生活で生かす。 	<div style="text-align: center;">○</div> <div style="background-color: #cccccc; height: 80px; width: 100%;"></div> <div style="text-align: center;">○</div>
3	9 持続可能な社会を生きる	4 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 自分の生活が環境に与えている影響について理解し、環境に配慮した生活を考えようとする。 ◇ 教科書p.124、125のイラスト上部（環境問題）と下部（わたしたちの生活）から、生活が環境に与える影響について考える。 ◆ 環境に配慮した物の使い方などについて理解し、課題を見いだして解決に向けた取組みを考える。 ◇ 便利さや技術革新と環境への配慮の視点（持続可能な社会の視点）から生活のあり方について考える。 ◆ 実践や家族等が行っていることをふり返り、環境負荷に配慮した生活を継続していこうとする。 ◇ 便利さを選びつつ、環境に配慮するために、自分が調べたいことを考える。調べた内容を共有し、生活の中から課題を見出す。 	<div style="background-color: #cccccc; height: 80px; width: 100%;"></div> <div style="text-align: center;">○</div> <div style="background-color: #cccccc; height: 80px; width: 100%;"></div> <div style="text-align: center;">○</div>
	2年間の学習をふり返って、中学校の学習に生かそう	1 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 2年間の学習をふり返り、できるようになったことを確認する。中学校での学習に興味をもち、意欲を高める。 ◇ 教科書p.126を使って2年間でできるようになったこと、これから生かしていきたいことなどを発表する。 	<div style="background-color: #cccccc; height: 80px; width: 100%;"></div> <div style="text-align: center;">○</div>
	生活の課題と実践	2 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 家庭の仕事または家族や地域の人々との関わりについて日常生活の中から課題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、計画を立てて実践し、評価・改善するなどして課題を解決する力を身に付ける。 	<div style="background-color: #cccccc; height: 80px; width: 100%;"></div>

	<p>◇ 家庭生活や家庭科学習をふり返り、話し合いや発表を通して課題を見つける。課題の実践計画表を作成する。作成した計画表をまわりの友だちや家族と共有したり、相談したりして計画を改善して取り組む。</p> <p>◆ 家族の一員として、生活をよりよくしようと、家庭の仕事または家族や地域の人々との関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、家庭や地域などで実践しようとする。</p> <p>◇ 家庭や地域で実践した結果を発表する。まわりの人の取り組みの発表を聞いて、気づいたことや改善点についてアドバイスする。</p>	<p>○</p> <p>○</p>
--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	小学部	学年	第 5~6 年	
教科等名	体育			学習グループ	⑬	
ねらい	(1)特性に応じた各種の運動の行い方及び身近な生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な動きや技能を身につけるようにする。 (2)運動や健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3)運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う。					
担当教員	荒木盛子 岡名沙輝			年間授業時数	20 時間	
使用教科書	なし					
主な指導の工夫	・児童の実態や目標に即して、小集団に分けて授業を行う。 ・児童が自分の運動の振り返りを行うことができるようにするため、振り返りシートや視覚教材等を活用する。 ・児童が授業における目標を設定することで、主体的に運動に取り組めるようにする。					
月	単元（題材）名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
通年	生活と健康（保健）	2	◆ 自身の生活を振り返るとともに、健康への興味関心を高める。 ◇ 生活習慣病についての学習 ◇ 薬物についての学習			
4 7	体づくり運動 運動会練習 プール	10	◆ 身体をたくさん動かして、健康の保持増進と、体力向上を目指す。 ◇ 体操、5分間走 ◇ 体づくり運動 ◇ プール学習			○ ○ ○
9 12	球技 ・ポッチャ ・ティーバットベース ボール	7	ルールのある競技を通して、自己の運 ◆ 動力を高めるだけではなく、友達と協力したり、高め合ったりする。 ◇ ルールの理解 ◇ ボールを投げる・転がす等の練習 ◇ チームでの練習と試合	○		○ ○
1 3	表現の運動	3	集団でのリズムダンスを通して、自己の運動能力を高める。 ◇ 小グループでの動きの確認 ◇ 小グループでの練習・発表			○ ○

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体(本校)	学部	小学部	学年	第6年	
教科等名	外国語			学習グループ	⑬	
ねらい	<p>(1) 外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語との違いに気付き、これらの知識を理解するとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。</p> <p>(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>					
担当教員	荒木盛子 岡名沙輝			年間授業時数	70 時間	
使用教科書	Here We Go! 6 (光村図書)					
主な指導の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・映像などを適宜活用し、英語を使う楽しさを感じられるようにする。 ・実態に応じた題材選定や授業展開を心がけ、児童が達成感を得られるように留意する。 					
月	単元(題材)名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4	Let's Start	2	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 中学年や5年の復習 ◇ アルファベットや数字を復習する。 	○		
5	Unit 1 This is me.	6	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 出身地や得意なことを言って、自己紹介をすることができる。 ◇ 自己紹介をするための言い方を知る。 ◇ 出身地やできることをたずね合う。 ◇ 得意なことを伝えあう。 ◇ みんなが知らない自分の一面を紹介する。 	○		○
6	Unit 2 Welcome to Japan.	8	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 日本の行事やそこでできることを紹介することができる。 ◇ 季節や行事の言い方を知る。 ◇ 季節ごとの行事を伝える。 ◇ 各地の行事でできることを伝える。 ◇ 日本の行事を紹介する。 	○		○
				○	○	○

7	Unit 3 What do you want to watch?	6	<p>◆ 見たいスポーツをたずね合うことができる。</p> <p>◇ スポーツの言い方を知る。</p> <p>◇ 見たいスポーツをたずね合う。</p> <p>◇ 見たいスポーツを調べるためにたずね合う。</p>			
	Review 世界の友達 1	1	<p>◆ 世界の小学生についての理解を深める。(異文化理解)</p> <p>◇ 世界の小学生の映像から、Unit 1 - 3で学んだ表現を振り返るとともに、世界の人々や文化に対して関心と理解を深める。</p>			
9	Unit 4 My summer Vacation	8	<p>◆ 夏休みのできごとや感想を発表することができる。</p> <p>◇ 夏休みの出来事の言い方を知る。</p> <p>◇ 夏休みのできごとをたずね合う。</p> <p>◇ 夏休みの出来事の感想をたずね合う。</p> <p>◇ ポスターを使って、夏休みでいちばんの思い出を発表する。</p>			
10	Unit 5 He is famous. She is great.	6	<p>◆ 職業や性格などを言って、世界で活躍する人を紹介することができる。</p> <p>◇ 人を紹介するための言い方を知る。</p> <p>◇ 好きなものや欲しいものなどを伝える。</p> <p>◇ 人の職業や性格などを紹介する。</p> <p>◇ 世界で活躍する人を紹介する。</p>			
11	Unit 6 This is my town.	8	<p>◆ 自分の町にあるものやそこでできることを紹介することができる。</p> <p>◇ 施設や建物の言い方を知る。</p> <p>◇ 町にあるものとないものについて伝えよう。</p> <p>◇ 各地でできることを伝える。</p> <p>◇ パンフレットを使って自分の町を紹介する。</p>			
12	Unit 7 My Best Memory	6	<p>◆ 小学校生活の思い出に残る行事を発表することができる。</p> <p>◇ 学校行事の言い方を知る。</p>			

			<ul style="list-style-type: none"> ◇ 思い出に残る行事を伝えあう。 ◇ 行事で行った場所やしたことなどを伝える。 ◇ 小学校生活のいちばんの思い出を紹介する。 	○			○
	言葉について考えよう 伝えるわざを身につけよう	1	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 知っている言葉を工夫して使う。表情やジェスチャーも大切にして伝える。 ◇ ジェスチャーを使って連想ゲームをする。 				
	Review 世界の友達 2	1	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 世界の小学生についての理解を深める。(異文化理解) ◇ 世界の小学生の映像から、Unit 4-7で学んだ表現を振り返るとともに、世界の人々や文化に対して関心と理解を深める。 				
1	Unit 8 What do you want to be?	8	<ul style="list-style-type: none"> ◆ なりたい職業とその理由を言って、将来の夢を発表することができる。 ◇ 職業の言い方を知る。 ◇ なりたい職業を伝え合う。 ◇ なりたい職業とその理由を伝える。 ◇ 自分の将来の夢を発表する。 				
2 3	Unit 9 Junior High School Life	8	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 中学校で入りたい部活動やしたいことを発表することができる。 ◇ 部活動の言い方を知る。 ◇ 入りたい部活などを伝えあう。 ◇ 中学校でしたいことなどを伝える。 ◇ 中学校でがんばりたいことを発表する。 				
	Review 世界の友達 3	1	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 世界の小学生についての理解を深める。(異文化理解) ◇ 世界の小学生の映像から、Unit 8-9で学んだ表現を振り返るとともに、世界の人々や文化に対して関心と理解を深める。 				

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	小学部	学年	第 6 年	
教科等名	特別の教科 道徳			学習グループ	⑬	
ねらい	よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。					
担当教員	荒木盛子 岡名沙輝			年間授業時数	35 時間	
使用教科書	小学道徳 ゆたかな心 6年（光文書院）					
主な指導の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活全般において指導を行う。 ・題材に応じて、各教科、外国語活動、総合的な学習の時間および特別活動との関連を考慮しながら指導を行う。 					
月	単元（題材）名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				理解	心情	意欲
4	心を受けつぐ（一年生のお世話係～アフター・ユー）	3	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 6年生としての役割を自覚し、学校生活をよりよく充実したものにしようとする。 ◇ 6年生として果たすべき役割とその役割を果たすために大切なことについて話し合う。 			
5	働く人の思い（世界がおどろく七分間清掃）	3	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 働くことのよさや大切さを知ると共に、自らも公共のために役立とうとする気持ちをもつ。 ◇ 私たちの周りで働いている人が、どのような思いで働いているのか、話し合う。 ◇ 「世界がおどろく七分間清掃」を読み、働くことの意義について考える。 ◇ 私たちの周りで働いている人たちの思いについて話し合い、自分たちにもできることを考える。 			
6	マナーとルール（「マナーからルールへ、そしてマナーへ」）	3	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 「マナー」と「ルール」の違いを考えることを通して、法やきまりの意義を理解し、進んでそれを守ろうとする。 ◇ マナーとルールの違いについて話し合う。 ◇ 今日の学習を、自分の言葉でまとめる。 			
7	いらなくなったきまり	3	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 気持ちよく生活するためにモラルを守って生活しようとする心構えをもつ。 ◇ クラスのきまりについて話し合う。 ◇ 「いらなくなったきまり」を読み、クラスみんなが気持ちよく生活するために大切なことについて考える。 ◇ 今日の学習から、自分の考えをまとめる。 			

2	地域の人々を支えるもの (よみがえれ熊本城)	4	<p>◆ 郷土の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、郷土を愛する心をもつ。</p> <p>◇ 自分たちの地域で大切にされているものについて話し合う。</p> <p>◇ 「よみがえれ熊本城」を読み、熊本城に対する地域の人々の思いについて考える。</p> <p>◇ 自分たちの地域の伝統や文化が大切にされている理由について話し合う。</p>	
3	羽ばたけ、折り鶴	4	<p>◆ 自他の生命を尊重しようとする。</p> <p>◇ 「原爆の子の像」について知っていることを話し合う。</p> <p>◇ 「羽ばたけ、折り鶴」を読み、命と平和について考える。</p> <p>◇ 命や平和の大切さについて、話し合う。</p>	

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	小学部	学年	第5～6年	
教科等名	総合的な学習の時間			学習グループ	⑬	
ねらい	(1)探求的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探求的な学習のよさを理解するようにする。 (2)実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 (3)探求的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いの良さを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。					
担当教員	荒木盛子 岡名沙輝			年間授業時数	70 時間	
使用教科書	なし					
主な指導の工夫	・調べ学習や調理実習においては、児童にとって目的意識をもてるような働き掛けや授業計画を立てる。 ・題材に応じて、各教科、外国語活動および特別活動との関連を考慮しながら指導を行う。 ・ICT機器を活用する。					
月	単元（題材）名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
通年	避難訓練	10	◆ 非常時の行動について知り、災害に備える。 ◇ 避難訓練、防災学習			○
4 7	好きなことについて特集記事を作ろう	25	◆ 自分の好きなことについて調べたことをまとめて発表することを通して、インターネットなどを使用した調べ学習の基本や、まとめ方について学 ◇ 特集記事作り ◇ 発表		○	○
9 12	感謝の気持ちを伝えよう	25	◆ 感謝を伝えるためのおもてなし会を自分たちで企画運営し、主体性や計画性を養う。 ◇ おもてなし会の企画、運営		○	○
1 3	パソコンの基本的スキルを学ぼう	10	◆ パソコンの基本的なスキルとして、Wordソフトを使った簡単な文書が作れるようになる。 ◇ Wordを使った文書作り	○	○	

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	小学部	学年	第 2~6 年	
教科等名	特別活動			学習グループ	⑬	
ねらい	(1)望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う。					
担当教員	荒木盛子 岡名沙輝			年間授業時数	35 時間	
使用教科書	なし					
主な指導の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が見通しをもって活動できるように、ねらいや予定を明確に示す。 ・活動の振り返りができるワークシート、作文などを活用する。 ・児童一人一人の実態に合わせたねらい、手立てを設定する。 					
月	単元（題材）名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
通年	儀式的行事	18	◆ 見通しをもち、落ち着いて参加する。 ◇ 始業式、終業式、修了式 自分の役割を意識し、落ち着いて参列する。 ◇ 卒業式			○
	学年の時間		◆ 同学年の友達とすすんで交流する。 ◇ ゲーム、行事事前学習など			○
4	オリエンテーション係活動について		◆ 一年間の行事や予定に見通しをもち、学習グループの一員としての自覚 ◇ 予定確認、係活動決め			○
7・12	長期休みの過ごし方について	4	◆ 長期休みの過ごし方について考え、計画的に過ごせるようにする。 ◇ 目標決め、計画		○	
6	お金について考えよう	5	◆ お金が大切なものと理解し、正しい使い方を知る。 ◇ ゲームなどを通してお金について学ぶ。			○
学期末	お楽しみ会をしよう（3回）	12	◆ お楽しみ会の企画・運営を通して、自主性や実行力を養う。 ◇ 学期末のお楽しみ会の企画・運営		○	

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度